



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日

上場会社名 株式会社ミマキエンジニアリング 上場取引所 東
 コード番号 6638 URL <https://ir.mimaki.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 池田 和明
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 CFO (氏名) 清水 浩司 TEL 0268-80-0058
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円 60,383	% △1.6	百万円 6,345	% △14.5	百万円 6,002	% △12.4	百万円 4,520	% △8.6
2025年3月期第3四半期	61,374	11.9	7,423	88.1	6,854	100.5	4,944	102.8

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 6,454百万円 (21.6%) 2025年3月期第3四半期 5,308百万円 (52.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭 156.29	円 銭 156.15
2025年3月期第3四半期	171.47	171.02

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円 80,640	百万円 37,195	% 45.9
2025年3月期	76,174	32,373	42.3

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 36,986百万円 2025年3月期 32,216百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 17.50	円 銭 —	円 銭 35.00	円 銭 52.50
2026年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2026年3月期(予想)					

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2025年3月期期末配当金の内訳 普通配当 25円00銭 特別配当 10円00銭

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円 82,500	% △1.7	百万円 8,500	% △6.7	百万円 7,800	% △7.6	百万円 5,500	% △10.7

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ：無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | ：無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | ：無 |
| ④ 修正再表示 | ：無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

- | |
|---------------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） |
| ② 期末自己株式数 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） |

2026年3月期3Q	32,040,000株	2025年3月期	32,040,000株
2026年3月期3Q	3,103,415株	2025年3月期	3,126,812株
2026年3月期3Q	28,926,089株	2025年3月期3Q	28,837,970株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4 「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(偶発債務)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当社グループは、独自技術を保有し、自社ブランド製品を世界に供給する“開発型企業”を目指すことで、市場に常に“新しさと違い”を提供するイノベーターであり続けることを経営ビジョンに掲げ、産業用印刷市場におけるデジタル化の推進を目指しております。

また、2025年5月に策定しました中長期成長戦略「Mimaki Innovation 30（以下、MI30）」において、コア事業である産業用インクジェットプリンタ事業の成長と安定的な収益性の維持・強化とともに、新たな領域へチャレンジすることで企業価値の向上を図るため、重点施策に基づき目標達成に向けて取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国の関税政策の影響や中国経済の見通し、各国の金融政策に伴うインフレ等もあり、先行き不透明な状況が続きました。わが国においては、設備投資が堅調に推移しており、経済は緩やかな回復基調にあるものの、物価の上昇や地政学リスクなどの不透明な状況が継続しております。

このような環境のなか、当社グループでは中長期成長戦略「MI30」で定めた重点施策に基づき、収益性の維持による安定的な財務基盤の実践と、製品市場別戦略として定期的かつ革新的な新製品を上市する目標を策定し取り組んでおります。当第3四半期においては、SG（サイングラフィックス）市場向けでは、鮮やかで高画質な広告の量産を可能とする新たな水性顔料インク「AP50」を発表しました。「AP50」は、“高速で美しい”プリンタ「Tiger600-1800TS」に搭載することで、滲みを抑えた高画質な広告の量産を実現しました。IP（インダストリアルプロダクツ）市場向けに、産業プリントの新基準となるインク厚盛性能と高低差対応力の強化による表現力を備えたフラットベッドUVインクジェットプリンタ「UJF-7151 plusII e」を発表しました。また、事業を通じた社会貢献活動として、国際医療NGO団体の（認定）特定非営利活動法人ジャパンハートの活動に賛同し、団体が運営するカンボジアの病院用ユニフォームに、当社製品によるプリント加工で支援企業のロゴを施し、無償提供しました。

売上高は、1.6%の減収となりました。製品市場別では、SG市場向けの新製品であるエコソルベントモデル等、一部の販売は好調でしたがSG市場向け全体では前年同期並みとなりました。IP市場向けはインクの販売は好調でしたが、減収となりました。なお、当第3四半期（2025年10月から12月）は、営業戦略の転換が奏功し、北米、欧州を中心に各ラインナップとともに総じて堅実に推移し強い回復基調に転じたことから、IP市場は増収となっており、足元においても着実に伸長しております。TA市場向けは、インクの販売が好調であった一方で、本体の販売が伸び悩みました。FA（ファクトリーオートメーション）事業は、同事業内での濃淡はありますが減収の結果となりました。

利益面では、減益となりましたが継続的な原価低減活動が収益性の安定化に寄与し、営業利益率は10.5%と10%以上を堅守しました。販管費は、将来の成長のための研究開発費や人件費等の開発投資は計画どおりに執行した一方で、支払手数料等のコストコントロールを徹底した結果、売上高比率は前年同期比では増加したものの、計画予想の範囲内に抑制しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は603億83百万円（前年同期比1.6%減）、営業利益は63億45百万円（同14.5%減）、経常利益は60億2百万円（同12.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は45億20百万円（同8.6%減）となりました。

また、主要な為替レート（2025年4月から12月の平均レート）は、1米ドル=148.75円（前年同期 152.56円）、1ユーロ=171.84円（前年同期 164.82円）で推移しました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。なお、セグメントごとの利益につきましては、セグメント間取引消去の影響により四半期連結損益計算書の営業利益から乖離するため、記載を省略しております。

（日本・アジア・オセアニア）

売上高は269億67百万円（前年同期比0.7%減）となりました。日本では、SG市場向けはエコソルベントのフラッグシップモデルの好調や、TA市場向けは生産性の高いモデルの好調やインクの販売が大幅増となりそれぞれ増収となりました。一方で、IP市場向けは、インクの販売は大きく伸長したものの、本体の販売の大幅な減少の影響により減少しました。FA事業は、自動車業界による投資見送り等の影響を受けFA装置が大幅に減少しました。全体では増収の結果でした。アジア・オセアニアでは、IP市場向けのインクの販売が好調でしたが、SG市場向けとともに減少し、TA市場向けは、同エリアにおいて主力製品であるエントリーモデルの販売が伸び悩み大幅に減少しましたが、FA事業等の売上増加により若干の減収となりました。なお、全体の為替影響を除いた売上高は、増収でした。

（北・中南米）

売上高は180億89百万円（同1.6%減）となりました。北米では、IP市場向けの大型FB（フラットベッド）モデルやミドルサイズのFBモデルの好調により販売が増加しました。SG市場向けは減収となりましたが為替を除いた実質的な売上は増収でした。一方でTA市場向けのDTFモデルの販売の大幅な減少を受け減少しましたが、全体で

は若干の減収となりました。なお、北米全体の為替影響を除いた実質的な売上は、増収でした。中南米も、地域差はあるものの減収となりましたが、為替を除いた実質的な売上は増収でした。

(欧州・中東・アフリカ)

売上高は153億27百万円（同3.2%減）となりました。欧州では、SG市場向けのエコソルベントモデルが好調となり販売は増加しましたが、為替を除いた実質的な売上は、減収でした。IP市場向けは販売が減少し、TA市場向けも、インクの販売は2桁成長しましたが、DTFモデルの販売減少により欧州全体でも減収となりました。中東・アフリカも減収となりました。

市場別売上高の詳細は、以下のとおりです。

	売上高（千円）	構成比率（%）	対前期増減率（%）
S G 市 場 向 け	24,870,872	41.2	△0.5
I P 市 場 向 け	15,468,143	25.6	△3.3
T A 市 場 向 け	6,903,433	11.4	△11.9
F A 事 業	2,987,109	4.9	△3.2
そ の 他	10,154,304	16.8	7.3
合 計	60,383,863	100.0	△1.6

(SG市場向け)

売上高は248億70百万円（前年同期比0.5%減）となりました。プリンタ本体は、新製品を始めとするエコソルベントモデルの販売が好調で、期初にリリースの「UJV300DTF-75」も欧州や北米を中心に順調な販売となりましたが前年同期比での本体の販売は減少しました。インクの販売は前年並みとなり、全体では前年同期並みとなりました。

(IP市場向け)

売上高は154億68百万円（同3.3%減）となりました。プリンタ本体は、ミドルサイズモデルが継続して販売台数を伸ばしましたが、小型FBモデルの軟調により販売は減少しました。インクの販売は好調に推移しましたが、全体では減収となりました。なお、前述のとおり当第3四半期（2025年10月から12月）においては、営業戦略の転換により強い回復基調となり、足元においても着実に伸長しております。

(TA市場向け)

売上高は69億3百万円（同11.9%減）となりました。プリンタ本体は、昇華転写モデルの前期に発表したエンターモデルやデジタル捺染の高速プリンタ「Tiger600」などが手堅く推移しましたが、DTFモデルの販売減少を受け、インクの販売は好調を維持しましたが、全体では大幅な減収となりました。

(FA事業)

売上高は29億87百万円（同3.2%減）となりました。基板実装装置や半導体製造装置及び基板検査装置は大きく伸長しましたが、FA装置の販売が、足元の受注が回復基調にあるものの大幅に減少したことから、減収の結果となりました。

品目別売上高の詳細は、以下のとおりです。

	売上高（千円）	構成比率（%）	対前期増減率（%）
製 品 本 体	21,609,496	35.8	△10.0
イ ン ク	24,420,535	40.4	2.3
保 守 部 品	5,507,840	9.1	6.6
そ の 他	8,845,991	14.6	6.1
合 計	60,383,863	100.0	△1.6

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ44億65百万円増加し、806億40百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度末と比べ34億38百万円増加し、610億42百万円となりました。これは、主に商品及び製品の増加等によるものです。また、固定資産は前連結会計年度末と比べ10億26百万円増加し、195億97百万円となりました。これは、主に建設仮勘定等の増加によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ3億55百万円減少し、434億44百万円となりました。流動負債は、前連結会計年度末と比べ7億61百万円増加し、380億53百万円となりました。これ

は、主に短期借入金の増加等によるものです。固定負債は、前連結会計年度末と比べ11億17百万円減少し、53億91百万円となりました。これは、主に長期借入金の減少等によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ48億21百万円増加し、371億95百万円となりました。これは、主に利益剰余金の増加等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年11月11日に公表した通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	15,448,305	17,240,787
受取手形、売掛金及び契約資産	13,532,182	11,053,926
商品及び製品	16,852,411	19,600,105
仕掛品	2,120,256	2,197,784
原材料及び貯蔵品	5,890,944	6,697,296
その他	3,815,720	4,283,660
貸倒引当金	△56,101	△30,997
流动資産合計	57,603,719	61,042,564
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,569,938	4,566,422
土地	3,572,719	3,638,813
その他（純額）	5,507,622	6,449,711
有形固定資産合計	13,650,280	14,654,947
無形固定資産		
のれん	108,091	91,877
その他	739,707	738,065
無形固定資産合計	847,798	829,943
投資その他の資産		
投資有価証券	143,815	190,193
繰延税金資産	2,620,556	2,463,163
その他	2,532,990	2,918,937
貸倒引当金	△1,224,822	△1,459,657
投資その他の資産合計	4,072,540	4,112,637
固定資産合計	18,570,619	19,597,527
資産合計	76,174,338	80,640,091
負債の部		
流动負債		
支払手形及び買掛金	3,846,401	3,936,611
電子記録債務	5,000,625	6,112,204
短期借入金	14,774,724	16,154,568
1年内返済予定の長期借入金	1,783,229	1,683,598
リース債務	471,113	387,838
未払法人税等	1,552,621	466,499
賞与引当金	1,582,173	936,821
役員賞与引当金	135,885	94,104
製品保証引当金	1,532,956	1,186,333
その他	6,611,828	7,094,601
流動負債合計	37,291,559	38,053,181
固定負債		
長期借入金	3,972,152	2,809,036
リース債務	1,939,480	1,952,346
繰延税金負債	57,383	67,206
退職給付に係る負債	282,400	298,717
資産除去債務	149,751	156,980
役員退職慰労引当金	33,900	33,900
その他	73,718	73,358
固定負債合計	6,508,786	5,391,544
負債合計	43,800,346	43,444,726

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,357,456	4,357,456
資本剰余金	4,674,335	4,700,004
利益剰余金	22,926,931	25,775,301
自己株式	△1,869,368	△1,855,426
株主資本合計	30,089,354	32,977,335
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41,085	72,218
為替換算調整勘定	2,001,807	3,878,132
退職給付に係る調整累計額	84,613	58,546
その他の包括利益累計額合計	2,127,506	4,008,897
新株予約権	1,767	1,466
非支配株主持分	155,365	207,666
純資産合計	32,373,992	37,195,365
負債純資産合計	76,174,338	80,640,091

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	61,374,029	60,383,863
売上原価	32,131,564	30,683,875
売上総利益	29,242,464	29,699,987
販売費及び一般管理費	21,818,857	23,353,995
営業利益	7,423,606	6,345,992
営業外収益		
受取利息	76,379	72,573
受取配当金	2,073	3,235
受取保険金	13,790	14,305
助成金収入	16,855	35,925
還付加算金	132,693	35,656
その他	65,368	125,215
営業外収益合計	307,160	286,913
営業外費用		
支払利息	339,790	340,756
為替差損	241,729	22,080
持分法による投資損失	25,700	52,616
インフレ会計調整額	186,474	153,345
その他	82,975	61,365
営業外費用合計	876,669	630,163
経常利益	6,854,097	6,002,742
特別利益		
固定資産売却益	12,541	13,807
特別利益合計	12,541	13,807
特別損失		
固定資産売却損	1,146	724
特別損失合計	1,146	724
税金等調整前四半期純利益	6,865,493	6,015,825
法人税、住民税及び事業税	1,934,451	1,299,418
法人税等調整額	△43,787	167,757
法人税等合計	1,890,663	1,467,176
四半期純利益	4,974,829	4,548,649
非支配株主に帰属する四半期純利益	30,087	27,679
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,944,741	4,520,970

四半期連結包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	4,974,829	4,548,649
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,056	31,133
為替換算調整勘定	364,302	1,900,838
退職給付に係る調整額	△31,344	△26,066
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,729	108
その他の包括利益合計	333,285	1,906,013
四半期包括利益	5,308,114	6,454,663
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,277,018	6,402,362
非支配株主に係る四半期包括利益	31,095	52,300

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

[超インフレの会計処理]

2023年3月期連結会計年度において、トルコにおける3年間の累積インフレ率が100%を超えたため、当社グループはトルコ・リラを機能通貨とするトルコの子会社について、超インフレ経済下で営業活動を行っていると判断いたしました。このため、2023年3月期第2四半期連結会計期間より、当社グループは、トルコの子会社の財務諸表について、IAS第29号「超インフレ経済下における財務報告」に定められる要求に従い、会計上の調整を加えています。

IAS第29号は、超インフレ経済下にある子会社の財務諸表について、報告期間の末日現在の測定単位に修正したうえで、連結財務諸表に含めることを要求しております。

当社グループは、トルコにおける子会社の財務諸表の修正のため、Turkish Statistical Institute (TURKSTAT) が公表するトルコの消費者物価指数 (CPI) から算出する変換係数を用いております。

トルコにおける子会社は、取得原価で表示されている有形固定資産等の非貨幣性項目について、取得日を基準に変換係数を用いて修正しております。現在原価で表示されている貨幣性項目及び非貨幣性項目については、報告期間の末日現在の測定単位で表示されていると考えられるため、修正しておりません。正味貨幣持高に係るインフレの影響は、四半期連結損益計算書の営業外費用に表示しております。

トルコの子会社の財務諸表は、当第3四半期連結会計期間末日の為替レートで換算し、当社グループの四半期連結財務諸表に反映しております。

(偶発債務)

当社の連結子会社であるMIMAKI BRASIL COMERCIO E IMPORTACAO LTDA (以下、ミマキブラジル社) は、当社インクジェットプリンタの輸入に関して、ブラジル国の税務当局から調査を受け、2件合計84,920千ブラジルレアル (当第3四半期連結会計期間末日レートでの円換算額2,386,252千円。) の追徴課税通知を受け取りました。ミマキブラジル社は当局からの指摘内容を不服とし、2018年9月に追徴課税通知を受けた74,992千ブラジルレアル (当第3四半期連結会計期間末日レートでの円換算額2,107,280千円。当第3四半期連結会計期間末日における遅延利息を含む。) に関しては、2019年12月に裁判所に税務訴訟の申し立てを行い、2025年3月に裁判所からミマキブラジル社の主張を認め当局の請求を取り消す判決が下されました。これに対し当局が2025年5月に控訴を行ったため、ミマキブラジル社では二審において引き続き主張を展開してまいります。

継続中の税務訴訟について、ミマキブラジル社は、本追徴課税は根拠がないものとする考え方に基づき、適切に対処してまいります。従って、現時点で当社グループの業績への影響額を見積ることは困難であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費 (のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。) 及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	1,544,397千円	1,602,536千円
のれんの償却額	16,213	16,213

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2024年4月1日 至2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	日本・アジア・オセアニア	北・中南米	欧州・中東・アフリカ	合計
売上高				
顧客との契約から生じる収益	27,149,072	18,390,878	15,834,078	61,374,029
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	27,149,072	18,390,878	15,834,078	61,374,029
セグメント間の内部 売上高又は振替高	25,426,794	369	3,015,274	28,442,437
計	52,575,866	18,391,247	18,849,352	89,816,466
セグメント利益	6,758,274	278,048	1,051,403	8,087,726

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	8,087,726
セグメント間取引消去	△664,119
四半期連結損益計算書の営業利益	7,423,606

II 当第3四半期連結累計期間（自2025年4月1日 至2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	日本・アジア・オセアニア	北・中南米	欧州・中東・アフリカ	合計
売上高				
顧客との契約から生じる収益	26,967,113	18,089,163	15,327,586	60,383,863
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	26,967,113	18,089,163	15,327,586	60,383,863
セグメント間の内部 売上高又は振替高	23,053,350	—	2,971,678	26,025,028
計	50,020,464	18,089,163	18,299,264	86,408,892
セグメント利益	5,656,621	684,725	348,140	6,689,488

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	6,689,488
セグメント間取引消去	△343,495
四半期連結損益計算書の営業利益	6,345,992